

情報は名古屋デスクへ

TEL (052) 561-5212

FAX (052) 561-5207

購読のお申し込み

☎ 0120-605-123 10:00~18:00(日・祝日除く)

WEBでのお申し込み

http://www.chukei-news.co.jp

アートル
スクリー

緩み防止ボルト開発

ねじ山を特殊形状に

車部品メーカーへ提案

ボルトの開発、製造販売のアートルスクリー(本社名古屋北区生駒町、松林興社長、電話052・915・3295)は、名古屋市工業研究所と共同で、緩み防止効果の高いボルト「モーシヨントイト」を開発、販売を始めた。特殊形状のねじ山で、緩み止めのナットなどを使わずボルト単体で緩み止め効果を発揮するのが特長。主に国内の自動車部品メーカーなどへ提案する。

(榎田宏行)

標準的なねじ山は傾斜角度が60度の左右対称だが、モーシヨントイトは、座面側にわずかに傾斜させ左右非対称にしている。ねじ山がわずかにたわみ、ねじ山の接触面に強力な反発力を発生させ緩みを防止する仕組みだ。

標準的なねじと比べ、撃に強く折れにくい。け管理ができる。疲労強度は1・2〜1。また、安定した軸力が。生産方法は標準的な。4倍高く、振動や衝撃得られ、適正な締め付。ねじと同一のため、生産と話している。

コストは安価で済むという。既存ねじと交換して使用することができ。

経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」などの支援も受けて開発した。日本、台湾、韓国で既に特許を取得している。

松林社長は「ねじ市場の大半は自動車関連が占めている。自動車部品メーカーを軸に積極的に提案していく」と話している。